

# 音楽祭の 似合う街、札幌



2001年7月29日 札幌芸術の森野外ステージ「ピクニックコンサート」

1989年5月、天安門事件のため、翌年北京で開催予定だった国際教育音楽祭の当地での開催を断念。替わってPMF(パシフィック・ミュージック・フェスティバル)の名称で、日本で開催することになり、その場所探しが始まった。国内の幾つかの町や公園が候補に上がり、その中から札幌に白羽の矢が立った。開催時期に梅雨がないこと、音楽ホールがあり、聴衆もいる。何よりも札幌芸術の森というアカデミーの研修場所があることがその理由であった。

1990年6月、第一回PMFが民間主導で開催された。そして、準備に入ってから開催にこぎ着けるまでに1年も無かったにもかかわらず、この国際教育音楽祭PMFの提唱者レナード・バINSTAインをして「これは奇跡だ」と言わしめたほどの成功を収めた。これには、会場整備など札幌市の協力が成功の大きな力となった。

世界を魅了し続ける「ウエスト・サイド・ストーリー」の作曲家レナード・バINSTAイン。カラヤンと人気を二分する20世紀を代表する指揮者であり、教育者、平和主義者。そして、PMF提唱者。この年の春、肺癌が発見されたため、来日も危ぶまれていた。しかし、自分が手がけたPMFを立ち上げるため、危険を冒してまで札幌にやってくるのだ。

北海道の自然と空気が、病魔に崩れかけていたバINSTAインを蘇らせ、PMFを無事全とうさせることが出来た。

「これは奇跡だ」のもう一つの意味には、開会式の6日前、頭はつなだれ、腕もだらりと下がり、命があるのかといぶかられるほどしぼんだ

姿で車椅子に乗って千歳空港から運び出された自身のことを思っていたのだのかも知れない。空港にほど近い空気のきれいなホテル・ニドムでの三日三晩の熟睡で体力を回復。26日、札幌芸術の森の野外ステージで行なわれた開会式では「私の残された生涯は教育に捧げる」と挨拶した。この野外ステージでのロンドン交響楽団のリハーサルでは、拡声装置の音を確認するため、客席スタンドの斜面を駆け上り、駆け下りし、舞台へ飛び上がるほどの元気を取り戻したのだ。札幌には7月9日まで滞在。この間、PMFオーケストラPMFアカデミー・メンバーのオーケストラの指導ではジョークを飛ばしながら懇切丁寧に、演奏会は精力的に行なうほか、ロンドン交響楽団とも演奏会を持つなど、連日多忙なスケジュールをこなした。

そして、PMFが終って、彼の口からは、これは奇跡だ。PMFは教育音楽祭のプロトタイプだ。来年もまた」だった。また、残りの東京での会期に臨むため、ホテル・ニドムを離れる時には、東京へは行きたくない」とも。

奇跡的な体力の回復も東京に至り、再び体調を崩し、7月10日のロンドン交響楽団東京公演では控えの指揮者大植英次が指揮をしなければならぬ程、病状が悪化した。

彼は、次代を担う若いアーティスト達に音楽を通じて世界平和に貢献することを託して、10月14日に他界した。

バINSTAインが最後に愛した街、札幌の市長は、自ら大晦日にニューヨークで行なわれた追悼コンサートに赴き、バINSTAインの遺志は札幌市が受け継ぐ」と万余の会衆の前で宣言。万雷の拍手を受け、一回目からは、札幌市が中心となって開催することになった。



円山公園での「兵士の物語り」



第1回PMFオーケストラを指導する レナード・バーンスタイン

バーンスタインにマーラーを教わったという  
ウィーン・フィルの首席奏者達が翌年の二回目  
から教授陣に加わった。この教授陣の取りま  
め役を務め、今年ウィーン・フィルのゼネラル・  
マネージャーに就任したクラリネット首席奏者  
ペーター・シュミットは、PMF十回目を記念  
してこの音楽祭を支えて来た札幌市民へのプレ  
ゼントとして街の中心にある大通公園でのコン  
サートを始めた。また、十回目には、PMFのO  
Bで、PMFインターナショナル（I.O.）オー  
ケストラ」を編成した。集まったOB達は、札幌  
へ帰って来た」と久しぶりの音楽祭の街を心行  
くまで楽しんでいた。これまで参加したアカデ  
ミー・メンバーは世界55か国、延べ1600人に  
なる。OBからはニューヨーク・フィルのコンサ  
ートマスターやフィラデルフィア・オーケストラの首  
席奏者も生まれてきた。

21世紀を迎えた今年、PMFは、十二回目を  
迎えた。この間、芸術監督は、長年務めたバー  
ンスタインの愛弟子マイケル・ニールソン・トーマ  
スからシャルル・デュトワに替わった。演奏会メイ  
ン会場の札幌市音楽専用ホール「kitara」  
も建設。ポランティアの発足。道内各地での演奏  
会が活発化するなど、PMFの活動は北海道札  
幌に定着。また、指導者のクリストフ・ヤシエン  
バハ、ジョン・ニヨンフン、佐渡裕、歌手のクリス  
タルドヴィヒ、佐藤しのぶなど世界で活躍中  
の多数の著名なアーティストがPMFの舞台に立  
った。これらのことが、札幌を世界に繋ぐ力と  
なった。

デュトワは、21世紀はアジアの時代、アジア  
の優秀な人材を発掘したい」と主張、自らア  
ジアでのアカデミー・メンバーを選ぶアジアでの  
オーディションに参加。結果として、アジアから

の合格者が大幅に増えた。また、芸術家の方か  
ら大衆の中に出掛けるべき」と、ストラヴィンス  
キーの音楽劇「兵士の物語」を緑の深い札幌円  
山公園でトラックの荷台を舞台に公演した。こ  
の「兵士の物語」は、1918年に自分の師匠ア  
ンセルメがロトザヌの劇場での初演の後、馬車  
の荷台を舞台に数多くの公演を予定したもの  
だったが、折から流行したスペイン風邪のため  
果たせなかったもの。デュトワは、馬車をトラッ  
クに変えて再現したのであった。

バーンスタインは、天国から自分が最後に出  
会い愛した「音楽祭の似合う街、札幌」の新しい  
展開を面白がって眺めているに違いない。

PMF組織委員会  
オペレーティング・ディレクター

竹津 宜男

PMFとは

レナード・バーンスタインの提唱で始  
まった国際教育音楽祭で、次代を担う優  
秀なオーケストラ奏者の育成が目的。毎  
年、世界の20前後の都市でオーディショ  
ンを行い、約十倍の応募者から選ばれた  
アカデミー・メンバーで五管編成のオー  
ケストラを編成し、前半はウィーン・フ  
ィル首席奏者、後半は世界の一流のオー  
ケストラの首席奏者からなる教授陣が  
約一か月間にわたり指導し、その成果を  
演奏会で発表する。札幌で7月に開催さ  
れ、会期中約50回の演奏会が行われる。  
現在の芸術監督はシャルル・デュトワ



PMF芸術監督 シャルル・デュトワ

